

土木学会 複合構造委員会 第3回幹事会 議事録

1. 日 時：平成17年8月5日(火) 14:00～17:30

2. 場 所：土木学会 2階 会議室 C

3. 出席者

上田委員長，中島副委員長，大垣幹事長，池田幹事，伊藤幹事，大山幹事，杉浦幹事，
中村幹事，古市幹事，本間幹事，溝江幹事，山口幹事，渡辺幹事，武知（敬称略，計14名）

4. 配布資料

- 資料 幹 3-1 第2回複合構造委員会幹事会議事録（案）
- 資料 幹 3-2 第1回複合構造委員会議事録（案）
- 資料 幹 3-3 幹事会作業分担（案）
- 資料 幹 3-4 新設小委員会委員公募 学会誌掲載原稿（案）
- 資料 幹 3-5 複合構造委員会 HP について
- 資料 幹 3-6 「複合構造物の性能照査指針小委員会」設立趣意書
- 資料 幹 3-7 「複合構造物の現状調査小委員会」設立趣意書
- 資料 幹 3-8 「維持管理小委員会」設立趣意書
- 資料 幹 3-9 「新材料による複合技術研究小委員会」設立趣意書
- 資料 幹 3-10-1 第6回複合構造シンポジウム 準備工程(案)
- 資料 幹 3-10-2 第6回複合構造シンポジウム スケジュール(案)
- 資料 幹 3-10-3 第6回複合構造シンポジウム プログラム (案)
- 資料 幹 3-10-4 第6回複合構造シンポジウム 投稿論文リスト
- 資料 幹 3-10-5 第6回複合構造シンポジウム パネル展示案
- 資料 幹 3-10-6 第6回複合構造シンポジウム 特別講演案
- 資料 幹 3-10-7 第6回複合構造シンポジウム 会告案
- 資料 幹 3-10-8 第6回複合構造シンポジウム 論文執筆依頼メール（案）
- 資料 幹 3-10-9 第6回複合構造シンポジウム 原稿作成要領（案）
- 資料 幹 3-10-10 第6回複合構造シンポジウム PDF ファイル作成要領
- 資料 幹 3-10-11 第6回複合構造シンポジウム 予算書資料
- 資料 幹 3-11 複合構造物の性能照査例の出版と講習会について
- 資料 幹 3-12 複合構造物の性能照査指針（英文）出版について
- 資料 幹 3-13 建築学会との情報交換交流について
- 資料 幹 3-14 日本複合材料学会からの協賛依頼
- 資料 幹 3-15 ペーパーレス推進協力について

5. 議事次第

(1) 委員長挨拶

上田委員長より挨拶があった。

(2) 第 2 回幹事会議事録(案)の確認 (資料 幹 3-1)

大山幹事より、第 2 回幹事会の議事録(案)の確認がなされ、以下の点についての修正があった。

- ・『複合構造の性能照査指針小委員会』では、「とともに、併せて、委員公募も行う」の記述を削除する。
- ・『複合構造の現状調査小委員会(仮称)』では、「小委員会名として、“現状”を削除することとなった。つまり、小委員会名は、『複合構造の調査小委員会』となる。」の記述を削除する。

(3) 第 1 回委員会議事録(案)の紹介 (資料 幹 3-2)

大垣幹事長より、第 1 回委員会の議事録(案)の紹介がなされ、以下の点についての修正があった。最終的な確認は、全委員にメールによる審議がなされた後となる。

- ・複合構造物の性能照査例の出版と講習会の項で、「次年度以降に大阪等にて開催・・・」と記述を修正する。

(4) 幹事会 業務分担について (資料 幹 3-3)

大垣幹事長より、幹事会業務分担について説明がなされ、以下のことが決められた。

- ・論文賞選考委員会に中島副委員長が出席することになった。
- ・ISO 対応特別委員会は、全委員会からの参加義務はないが、英文化指針案の出版は同委員会から出資されていることを踏まえて、参加要請があれば横田幹事に出席をお願いすることになった。
- ・継続教育実施連絡会は、参加要請があった場合には、伊藤幹事に出席をお願いすることになった。
- ・「複合構造物の性能照査例」の出版および講習会は、新設する性能照査指針小委員会とは別の活動として取り扱うことが確認された。

(5) 新設小委員会委員公募の学会誌掲載原稿について (資料 幹 3-4)

学会誌 9 月号掲載予定の委員公募のお知らせについて説明がなされた。

- ・申込み期限は平成 17 年 9 月 30 日とすることになった。
- ・応募資格は土木学会員に限定しないことが確認された。

(6) 複合構造委員会ホームページについて (資料 幹 3-5)

山口幹事より、ホームページについて説明がなされた。

- ・ホームページにはカウンターを設置した。これまでに 80 件程度のアクセスがあったが、重複を除外すると実質 20 件程度のアクセス状況である。
- ・シンポジウムに関する情報を早々に掲載する予定である。
- ・建築学会との相互リンクを計画している。
- ・「お知らせ」に複合構造物の性能照査指針(案)の改訂情報の“案内”を掲載し、具体的な改訂内容は技術紹介に掲載することになった。
- ・「各小委員会」は土木学会のサーバーを用いて山口幹事に小委員会の説明や名簿などの基本部分の担当をお願いすることとなった。将来的には各小委員会が基本部分以降をそれぞれ管理する方向で進めることになった。管理上の混乱を防ぐために、小委員会のサイト運営のルール策定を山口幹事にお願いすることになった。
- ・「技術紹介」は現在工事中としているが、早々に稼働させたいため、出版物の案内や改訂情報の掲載を進めることになった。また、専門用語検索に英語の用語集を盛り込むことになった。

(7) 小委員会の活動について (資料 幹 3-6~3-9)

『複合構造物の性能照査指針小委員会』

中村幹事より本日開催された小委員会について報告がなされた。

- ・ 最初に少数の委員による幹事会を構成し、小委員会の活動の着目点や取り組みについて半年から1年を目処に検討する。
- ・ 鋼構造委員会やコンクリート委員会が策定している照査指針に対して、土木学会としての整合性を得られるようなまとめ役を担える活動を目指す。
- ・ 性能照査指針を3年間で改訂することを目標とする。

『複合構造の現状調査小委員会』

伊藤幹事より小委員会の活動について説明がなされた。

- ・ 小委員会の幹事会を学官民それぞれ2名程度で構成する予定である。現在までに5名の了解を得たが、1~2名はまだ確定していない状況である。
- ・ 小委員会の委員公募までに、小委員会の幹事会で活動内容の詳細を検討したい。
- ・ 新材料に関する調査においては、『新材料による複合技術小委員会』との取扱い範囲を検討中である。
- ・ 活動期間は活動開始から2年間とする。

『維持管理小委員会』

杉浦幹事より小委員会の活動について説明がなされた。

- ・ これまで鋼橋およびPC橋がそれぞれ研究してきたLCCについて、共通の土台に立脚した研究推進の提案がなされた。

『新材料による複合技術小委員会』

上田委員長より小委員会の活動について説明がなされた。

- ・ 小委員会の幹事にはゼネコンの研究者などを考えているが、他に候補があれば推薦して欲しいとの要請があった。

(8) 第6回 複合構造の活用に関するシンポジウム企画について (資料 幹 3-10-1~3-10-11)

古市幹事より 第6回 複合構造の活用に関するシンポジウムの企画について報告がなされた。

- ・ 建築分野からの投稿はなく、最終的な投稿論文数は57編となった。投稿論文の中に複合構造シンポジウムとしてふさわしくない論文はなかった。
- ・ 発表論文数に合わせて、2セッションを増設した。
- ・ 会告は10月号掲載の予定である。プログラム等はホームページ参照の旨を記載する。8/10に会告原稿を事務局に提出する。ホームページには早々に開催案内を掲載する。
- ・ 各セッションの座長は、前回のシンポジウムを参考に選定した。1日目の「構造物への適用2」の座長は大垣幹事長から杉浦幹事に変更することとなった。
- ・ パネル展示は10月号の学会誌会告では遅くなるため、8月中旬にホームページに募集案内を掲載する。展示費用は過去の事例から10,000円/件と設定した。展示件数については、検討中である。申込みは簡単な内容説明を含めた先着順とすることとなった。
- ・ パネル展示に関わる説明員もシンポジウム参加費が必要であることが確認された。
- ・ 特別講演は、1日目はレールウェイエンジニアリング(株)保坂氏で決定したが、2日目は「地盤の複合構造化」をテーマとした龍岡先生を第一候補としたい。上田委員長から依頼することになった。
- ・ 原稿作成用のフォーマット(Wordデータ)をホームページに掲載する。フォーマットは、

古市幹事が作成し、山口幹事にする。論文提出から CD 配布まで時間が不足するため、提出段階で論文タイトルに論文番号を明示することと、論文番号 + ページを付与することとなった。

- ・ シンポジウムの収支予測は、およそ 2 万円の黒字と想定している。
- ・ シンポジウム参加人数は、委員会評価（参考：B 評価の基準は参加者 550 名または管理費 70 万円）に考慮されることの説明があった。

(9) 複合構造物の性能照査例の出版と講習会について（資料 幹 3-11）

渡辺幹事より、複合構造物の性能照査例について報告がなされた。

- ・ 出版工程は当初より若干遅れているが 8/15 には仕上がり、査読を依頼できる予定である。
- ・ 完全版下となる最終原稿の完成は 8 月末を目処とし、11 月以降の出版を目指している。
- ・ 講習会は東京会場を 1/31 に決定した。講師候補者の予定は確認している。
- ・ 会告は 10/10 に原稿を提出し、12 月号に掲載の予定である。
- ・ 参加費は、テキスト代の取扱い（別売りまたは参加費に含める）を含めて検討する。
- ・ プログラムは当初 10:00 ~ 15:10 と設定していたが、午後に集約して開催することや、英文指針の紹介等を検討する。
- ・ 講師は各編 1 名とし、各 WG で調整して頂く。「照査例の概要」の項では伊藤幹事によるスタッドの耐力式の説明を追加することになった。「閉会の挨拶」は性能照査指針小委員会の委員長である中村幹事にお願いすることになった。

(10) 複合構造物の性能照査例（英文）出版について（資料 幹 3-12）

上田委員長より、複合構造物の性能照査例（英文）出版について報告がなされた。

- ・ 出版工程は前回より 1 ヶ月遅れで 10 月末に印刷開始の予定である。
- ・ 出版形態は「書籍」とし、「CD」とはしない。発行部数は 500 部とすることになった。
- ・ スタッドの耐力式は、訂正したものを記載する。その他の訂正事項が盛り込まれていることを確認して頂くことになった。

(11) 建築学会との情報交換交流について（資料 幹 3-13）

大垣幹事長より、建築学会との情報交換交流について説明がなされた。

- ・ 建築学会の鋼・コンクリート複合構造委員会との相互交流を進めることが確認された。
- ・ 10/14 または 11/22 に 3 名程度で建築学会との会合を行うことになった。

(12) その他（資料 幹 3-14 ~ 3-15）

大垣幹事長より、以下の説明がなされた。

- ・ 日本複合材料学会より第 30 回複合材料シンポジウムの協賛依頼が紹介された。
- ・ 土木学会事務局からペーパーレス化推進の協力依頼があった。複合構造委員会では、余分な資料部数を作らないような対応に努めることになった。

(13) 第 4 回幹事会開催日時について

- ・ 日 時：平成 17 年 10 月 13 日(木) 14:00 ~ 17:00
- ・ 場 所：土木学会

以 上（記録・文責：武知 勉）